

## 研究参加者の皆さまへ

### 【研究課題】

消化器がん新規治療標的の検討（審査番号 11741）

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院・消化器内科

研究責任者 立石敬介・消化器内科・講師

担当業務 試料提供・匿名化・データ収集

### 【共同研究機関】

研究機関 国立研究開発法人国立がん研究センター

担当業務 データ収集・データ解析

研究機関 第一三共株式会社

担当業務 阻害化合物提供

### 【研究期間】

倫理申請承認後から 2018 年 3 月 31 日まで

### 【対象となる方】

2011 年 9 月 30 日 ~ 2017 年 9 月 30 日の間に当院消化器内科の研究「ヒト肝臓膵悪性腫瘍切除検体を用いた xenograft panel の研究開発（審査番号 3591）」および「ヒト膵・胆道由来微量検体を用いた培養増幅法の研究開発（審査番号 G10096）」にご協力をいただいた方。

### 【研究の意義】

上記の研究ですでに使用にご同意いただいている、患者さん由来の組織・細胞は、膵癌および胆道癌の病態研究に役立つのみならず、新たな治療薬剤の効果判定にも応用可能です。

### 【研究の目的】

本研究では、新たに開発された抗腫瘍薬の効果を、患者さん由来の組織・細胞を用いて調べる多施設共同研究を目的としています。

### 【研究の方法】

すでに当科で保管されている組織・細胞を用いて行う研究ですので、患者さんに新たにご負担いただくことはありません。具体的には、以前に検査の際に採取され、保管されている組織・細胞の一部を、個人情報削除され名前がわからない状態で国立研究開発法人国立がん研究センターに研究分担者が持参・輸送します。その細胞を用いて、新たに開発された薬剤の効果・感受性についての解析が行われます。使用後の細胞は主任研究者によって廃棄され、国立が

んセンターで保存されることはありません。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料は、国立がん研究センターに送られ解析されますが、送付前に氏名等の個人情報を削除し、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。その対応表は当研究室において立石敬介（管理責任者）が、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。解析後は試料は廃棄され保存されることはありません。

この研究のためにご自分の細胞を使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2017 年 12 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表される場合もあります。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、国立研究開発法人国立がん研究センターとの共同研究費から支出されます。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

本研究は、第一三共株式会社より薬剤の提供を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に事前報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

尚、あなたへの謝金はございません。

#### 【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院消化器内科 講師 立石敬介

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線37201） FAX：03-5800-8812

Eメールでのお問い合わせ：ktate-tky@umin.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 消化器内科 診療科責任者名 小池和彦

2017 年 10 月